

主要産地における平成29年度産水稲の生育状況等について 第10報 (7月20日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成29年7月21日)

道府県	生育状況等		
	区分	生育状況等	
北海道		育苗・田植進捗状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋)	
		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等(抜粋)	
北海道	(全道)	生育は、平年並に推移している(遅1日)。草丈は64.3cm(平年差-0.2cm)、葉数は10.5枚(平年差+0.1枚)、 葉数は645本/m ² (平年差-19本)で、いずれも平年並。 (北海道農政課 7月15日現在)	・7月の病害虫の発生量は、葉いもちちは平年並、コナメイガは少、 ウンカ類は平年並、イネドクムシはやや少、アカヒゲホ ミドリカスミカメ(第2回)は平年並、フタオビコヤガは少の 予報 (北海道病害虫防除所 6月29日公表)
	(生育)	(空知) 生育は平年並に進んでいる(遅2日)。草丈は65.9cm(平年差-0.1cm)、葉数は10.6枚(平年差+0.2枚)、葉数は 600本/m ² (平年差-17本)で、いずれも平年並。(空知総合振興局 7月15日現在) (石狩) 生育は平年並に推移している(遅1日)。草丈は59.4cm(平年差-1.3cm)、葉数は10.1枚(平年差+0.2枚)、 葉数は662本/m ² (平年差-5本)と、いずれも平年並。(石狩総合振興局 7月15日現在) (後志) 草丈は59.3cm(平年差-2.3cm)で平年並、葉数は10.3枚(平年差+0.2枚)で平年並、葉数は600本/m ² (平年差 -44.0本)でやや少ない。生育の遅延は遅3日。(後志総合振興局 7月15日現在) (根振) 生育は平年並(早2日)。草丈は64.3cm(平年差+1.1cm)でやや長、葉数は10.4枚(平年差+1.0枚)で平年並、葉数は 594.4本/m ² (平年差+0.1本)で平年並。(根振総合振興局 7月15日現在) (日高) 7月に入り、好天が続く。生育が回復した(早2日)。草丈は64.9cm(平年差+3.5cm)で平年並、葉数は10.6枚 (平年差+0.8枚)で平年並、葉数は661.7本/m ² (平年差+39.9本)でやや多。(日高総合振興局 7月15日現在) (渡島) 生育は概ね平年並に推移(幼穂形成率1日)。草丈は59.9cm(平年差+0.9cm)で平年並、葉数は10.3枚(平年比103%) で平年並、葉数は690本/m ² (平年比91%)でやや少ない。(渡島総合振興局 7月15日現在) (檜山) 生育は平年並よりやや遅れている(遅3日)。草丈は60.0cm(平年差-3.9cm)でやや短い、葉数は10.3枚(平年差 -0.1枚)で平年並、葉数は704.0本/m ² (平年差-36.9本)で平年並。(檜山総合振興局 7月15日現在) (上川) 生育の遅延は平年並となっている(遅速±0日)。草丈は65.1cm(平年比100%)で平年並、葉数は10.8枚(平年比 102%)で平年並、葉数は639本/m ² (平年比95%)でやや少。(上川総合振興局 7月15日現在) (留萌) 7月半の日照不足により生育は停滞したものの、6日以降の好天により生育は回復傾向である(遅3日)。草丈は 61.5cm(平年差+0.1cm)で平年並、葉数は10.5枚(平年差+0.1枚)で平年並、葉数は487本/m ² (平年差-58本)で少。 (留萌振興局 7月15日現在) (オホ ーツク) 生育は平年並である(遅速±0日)。草丈は66.6cm(平年比103%)で平年並、葉数は8.9枚(平年比100%) で平年並、葉数は554.0本/m ² (平年比94%)でやや少ない。(オホーツク総合振興局 7月15日現在)	
青森	(生育)	<7月10日現在の生育状況> ・黒石の「つがるロマン」は、草丈が54.4cmで平年より5.0cm短いが、株当たり葉数は31.7本で平年並、葉齢は10.3葉で 平年並であった。穂首分化期の到達日は7月5日で平年より1日遅かった。また、「晴天の露」は、草丈が64.9cmで前年 より4.1cm長く、株当たり葉数は33.3本で前年より7.6本多く、葉齢は9.6葉で前年より0.4葉多かった。穂首分化期の到達 日は7月3日で前年より1日遅かったが、幼穂形成期の到達日は7月10日で前年並であった。 ・十和田の「まっしぐら」は、草丈が65.1cmで平年並、株当たり葉数は25.3本で平年より1.1本多く、葉齢は10.5葉で 平年より0.3葉多かった。穂首分化期の到達日は7月2日、幼穂形成期の到達日は7月8日で、ともに平年より1日早かった。 (青森県産業技術センター農林総合研究所 7月11日) <6月30日現在、県生育観測所の生育> 「つがるロマン」は草丈がやや短く、葉数及び葉数がほぼ平年並、「まっしぐら」は草丈が短く、葉数及び葉数が少な かった。葉数から見た生育は、「つがるロマン」がほぼ平年並、「まっしぐら」がやや遅れているものの、生育は回復 傾向にあり、概ね順調である。 「つがろロマン」(全県8地点)の草丈は41.3cm(平年比95%)、葉数は20.7本/株(平年比92%)、葉数は9.2枚(平年 差-0.1)。「まっしぐら」(全県13地点)の草丈は45.9cm(平年比93%)、葉数は17.8本/株(平年比95%)、葉数は 8.4枚(平年差-0.4)。「ほっかりん」(北北1地点)の草丈は40.8cm(平年比101%)、葉数は15.2本/株(平年比83%)、 葉数は7.6枚(平年差-0.3)。 (青森県 7月5日付)	・7月の病害虫の発生量は、葉いもちちは平年並、結核病はやや多、 稲こうじ病は平年並の予報。コバネイナゴ、フタオビコヤガはやや多、アカヒゲ ホミドリカスミカメは平年並の予報。 (青森県病害虫防除所 6月28日公表)
	(生育)	・7月14日現在、農業研究センター(北上)の草丈、葉色(SPAD値)は平年を上回っており、葉数は平年を下回っている。 葉齢は「あきたこまち」では平年を上回っているが、「ひとめぼれ」、「銀河のしずく」は平年を下回っている。また、 幼穂形成期は、「あきたこまち」、「銀河のしずく」は7月8日に、「ひとめぼれ」は7月12日に達した。 「ひとめぼれ」の草丈は70.6cm(平年差+5.3cm)、葉数は644本/m ² (平年比97%)、葉齢は10.7葉(平年差+0.2葉)、葉色 (SPAD値)は43.2(平年差+3.8)。「あきたこまち」の草丈は68.2cm(平年差+3.0cm)、葉数は558本/m ² (平年比95%)、 葉齢は10.2葉(平年差+0.2葉)、葉色(SPAD値)は46.2(平年差+3.7)。「銀河のしずく」の草丈は76.1cm(平年差+4.7cm)、 葉数は508本/m ² (平年比91%)、葉齢は10.6葉(平年差+0.2葉)、葉色(SPAD値)は43.6(平年差+3.3)。 ・東北農業研究所(終米)の「いわてっこ」の草丈、葉数、葉齢、葉色(SPAD値)とも平年を下回っている。また、幼穂 形成期は、7月10日に達した。 草丈は53.2cm(平年差-2.4cm)、葉数は484本/m ² (平年比74%)、葉齢は10.2葉(平年差-0.2葉)、葉色(SPAD値)は 34.2(平年差-2.7)。 (岩手県農業研究センター 7月18日付)	
岩手	(生育)	・7月10日調査の結果、県全体の生育は、草丈56.3cmで平年並(平年差+0.3cm)、葉数は600本/m ² で平年よりやや多く (平年比107%)、葉数は10.1葉で平年並(平年差+0.1葉)である。 ・県内の生育は、6月上旬の低温少照のため、移植時期や栽培方法により圃場ごとの生育差が大きいようであったが、 7月の好天により一気に平年並になり、目標葉数(20~30本/株程度)は、各地ともほぼ確保されている。 ・幼穂形成期は平年並の見込みである。 (中央農業改良普及センター県域普及グループ 7月11日)	・7月の病害虫の発生量は、葉いもちちは平年並、結核病はやや多、 稲こうじ病は平年並の予報。コバネイナゴ、フタオビコヤガはやや多、アカヒゲ ホミドリカスミカメは平年並の予報。 (岩手県病害虫防除所 6月28日付)
	(生育)	・7月10日現在、生育はほぼ平年並に近づき、草丈は58.0cm(平年比98%)、1㎡当たり葉数は575本(平年比104%)、葉数は 10.8枚(平年比+0.1)。葉色はGM値が40.0(平年差+2.3)となっている。 ・幼穂長は1.5mm(平年差-1.2mm)で、幼穂形成期は平年並の7月9~10日頃であった。このことから、出穂期は平年並の 8月5日頃になる見込みである。 (宮城県 7月11日付) (仙台) 7月10日現在、生育はほぼ平年並に近づき、草丈及び葉数は平年並で、葉色はピークの遅れでやや濃くなっている。 幼穂長は、ひとめぼれ1.8mm(平年差-0.8mm)、ササニシキ1.9mm(平年差-0.3)で、幼穂形成期は平年並の7月7~ 10日頃、生育調査は全地点で幼穂形成期に達した。出穂期(管内全体の最盛期)は、平年並の8月4日頃になる見込み。 ひとめぼれ(管内平均)の草丈は56.1cm(平年比95%)、葉数は504本/m ² (平年比103%)、葉数は10.9枚(平年差+0.1枚)、 葉色(GM値)は37.6(平年差+1.1)、ササニシキ(管内平均)の草丈は62.2cm(平年比101%)、葉数は515本/m ² (平年 比92%)、葉数は10.9枚(平年差+0.2枚)、葉色(GM値)は42.9(平年差+4.3)。 (宮城県仙台農業改良普及センター 7月14日付) (美里) 7月10日の調査結果では、草丈は前年より短いがほぼ平年並、葉数は前年より多い。葉数はササニシキでは前年 および平年より多く、葉色は平年よりかなり濃い。県平均の中生品種の出穂期は8月5日頃(平年8月5日) 7月11日現在、管内のひとめぼれの出穂期は、8月5日移植で8月2日~8日、5月10日移植で8月8日~8日、5月15日 移植で8月7日~10日、5月20日移植で8月9日~12日の見込み。(美里農業改良普及センター 7月12日付) (登米) 7月10日現在の生育状況は、平年に比べ、草丈は並、葉数は多い。葉数は並だが、ほ場に比べらつきがみられる。 葉色は濃い。幼穂長は2.0~1.7mm(種分化後)、草丈や葉数が急激に増加している。移植水稲の生育調査はほ場の 間で幼穂の形成が確認された。幼穂形成期に入ったほ場(幼穂長1.0mm)もみられる。 直播栽培は、前年に比べ、草丈はほ場によりバラツキがみられるが、平年並。葉数はほ場によりバラツキがみられる が、多い。葉数は少なめで、生育はやや遅れ。葉色はやや淡め。草丈や葉数が増加しているが、葉色が濃いほ場 が散見される。(宮城県米づくり推進登米地方本部登米農業改良普及センター 7月12日付)	
宮城	(生育)	・7月10日現在、ひとめぼれ(生育調査は3カ所平均)は、幼穂形成期は7月4~6日頃で、生育はほぼ平年並に進んで おり、出穂期は平年並の8月2日頃と考えられる。ただし、今後、高温に経過すると、生育が早まる可能性がある。 草丈は平年並(平年比99%)、葉数は多く(平年比130%)、葉数は平年より多い(平年差+0.4枚)、葉色(GM値) は濃い(平年差+2.9GM値)。 北部平坦における中生品種の出穂期は8月1~9日頃と予測されるが、気象予報では高温が予想されているため、 生育が早まると考えられる。(県農業改良普及センター 7月11日付) (大崎) 7月10日の調査結果では、生育は概ね順調に進んでいると思われる。草丈は、平年に比べほぼ平年並を下回る~長い 傾向にある。葉数は、北部平坦のひとめぼれ、西部丘陵のまなむすめ及び山間高冷のやまのしずくは、平年に比べ 多く、他はやや少ない傾向にある。葉数は、やまのしずく以外は、ほぼ平年並の傾向。葉色は、西部丘陵まなむす めが、平年に比べ淡く、他は、平年に比べ濃い傾向にある。(大崎農業改良普及センター 7月11日付) (本吉) 7月10日現在、生育調査は(ひとめぼれ)、南三陸町入谷の生育調査は(ササニシキ)においては、幼穂が見え始め ており、まもなく幼穂形成期に達するものとみられる。管内の生育については、6月下旬以降は回復傾向にあり、 まもなく幼穂形成期に達するものとみられる。管内の出穂期は8月10日から8月16日頃と予想されている(古川農試)。 ひとめぼれ(気仙沼市)の草丈は50.3cm(平年比92%)、葉数は578.1本/m ² (平年比97%)、葉数は9.9枚(平年差-0.6枚)、 葉色(GM値)は34.9(平年差-2.7)、幼穂長は0.0mm(平年差-0.6mm)、ササニシキ(南三陸町)の草丈は51.1cm(平年比93%)、 葉数は546.0本/m ² (平年比92%)、葉数は10.5枚(平年差-0.1枚)、葉色(GM値)は36.2(平年差+0.5)、幼穂長は0.2mm(平 年差-1.5mm) 直播栽培普及展示の生育概況(鉄コーティング湛水直播)は、草丈、葉数ともに平年を上回り、順調に生育は進んで いる。(宮城県本吉農業改良普及センター 7月11日付) (石巻) 6月30日現在の生育調査は、草丈は、ひとめぼれが平年比80%、ササニシキが平年比83%と短くなっ ている。葉数は、ひとめぼれが平年比101%、ササニシキが平年比102%と平年並。葉数は、ひとめぼれが平年差-0.3枚、 ササニシキが平年差+0.4枚で平年並。葉色(SPAD値)は、ひとめぼれが平年差+3.0、ササニシキが平年差+2.4で やや濃くなっている。 乾田直播展示の生育状況は、播種が4月1日と平年よりかなり早かったが、4月下旬から5月上旬まで降雨がほと んどなく、土壌が乾燥したため出芽遅れや出芽しなかった生育がみられ、平年より生育が遅れている。 (石巻農業改良普及センター石巻地方米づくり推進部 7月4日付)	・南東北で斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付) ・巡回調査(6/27~30)の結果、県内全域の水田周辺で斑点米 カメムシ類(アサジカスミカメ)が多発。 (宮城県病害虫防除所 7月5日公表) ・7月上旬までの葉いもちの発生量は平年並、コバネイナゴの 発生量ははやや多の予報。 (宮城県病害虫防除所 6月23日公表)

注：この資料は、地方自治体及び出先機関等が各々のホームページで公表している資料について、一般及び関係者に周知することを目的として、米穀機構情報部が各公表資料の一部を抜粋し取り纏めたものです。各情報の詳細につきましては、末尾に明示している原資料を参照してください。

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等(抜粋)
秋 田	<p>(山 本) 7月14日現在の管内水稲定時点調査(管内9地点、品種:あきたこまち)の生育は、草丈60.9cm(平年比96%)、葉数514本/m²(平年比96%)、葉数11.0葉(平年差-0.1)、葉色(SPAD値)43.6(平年比105%)となっている。(7月14日付)</p> <p>(由 利) 7月5日の水稲定時点調査結果(3品種・移植8か所平均)によると、草丈は42.1cmで平年より短く(平年比82%)、mあたり葉数は530本で平年より少なく(平年比93%)、葉数は9.2葉で平年より遅く(平年差-0.7葉)となった。カメムシ対策として畦畔等の草刈り作業が行われている。また、葉数が確保されたほ場では中干しが始まっている。(7月7日付)</p> <p>(雄 勝) 7月5日現在の定時点調査(あきたこまち8か所)の生育は草丈41.0cm(平年比83%)、葉数432本/m²(同83%)、葉数9.7葉(同-0.1葉)、葉色(SPAD値)46.8(同103%)となっている。草丈は平年より短く、葉数は依然として平年より少ない状況。葉数から見た生育は平年と比べ1日遅れとなっている。(7月7日付)</p> <p>(秋 田) 7月5日現在の定時点調査(あきたこまち:10地点平均)の草丈は43.8cm(平年比82%)で平年より短く、1mあたりの葉数は488本(同92%)で平年より少なくなっている。また、葉数は9.7葉(平年差-0.6葉)で平年より少なく、生育は平年よりやや遅くなっている。葉色(葉緑素計値)は43.9(平年比103%)で平年並となっている。(7月10日付)</p> <p>(仙 北) 7月5日現在の生育状況は、草丈42.1(平年比84%)、葉数491本/m²(平年比91%)、葉数9.4葉(平年差-0.5葉)となっている。(7月7日付)</p> <p>(北秋田) 7月5日現在のあきたこまちは、草丈46.0cm(平年比89%)、葉数576本/m²(平年比93%)、葉数10.0葉(平年差-0.1)。葉数から見た生育は平年並となっており、葉色が平年より濃い状況。(7月7日付)</p>	<p>・7月の病虫害の発生量は、葉いもちは平年並、紋枯病、稲こい病はやや少ない、斑点米カメムシ類(アカスジカミカメ、アカヒゲトシドリカミカメ)は平年並、フタオビコヤガはやや少ない、コバネイナゴは平年並、アワヨトブは多いと予報 (秋田県病害虫防除所 6月30日公表)</p>
山 形	<p>(酒田飽海) 7月10日現在、はえぬきの草丈は「平年並」、葉数は「やや多く」、葉色は「濃い」 ひとめぼれは、草丈は「やや短く」、葉数は「平年並」、葉数は「やや少なく」、葉色は「平年並」 つや姫は、草丈は「短く」、葉数は「平年並」、葉数は「やや少なく」、葉色は「平年並」、低温で少なく推移していた葉数は、「平年並」から「やや多く」まで回復している。葉色は、今回の調査では、やや濃いものの「しつかり中干し」で低下傾向。直播栽培は、引続き生育量は不足。 (水田農産試験場(鶴岡市農産)の幼穂調査によると、出穂は中生晩品種(ひとめぼれ、はえぬき)、晩生品種(つや姫、コバネイナゴ)いずれも平年より1~2日遅い予想。 (庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月13日付)</p> <p>6月30日現在、「つや姫」の生育は、前回の調査より葉数が急増中、葉色も濃くなってきている。草丈はやや短い、葉数はやや少ない、葉色は遅れている(圃場間差あり)、葉色(SPAD)はやや濃い(40以上あり)、生育診断書の葉齢からみて、出穂期は平年より3日程度遅れる予想。 (庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月3日付)</p> <p>(北 村 山) 7月10日現在、葉色の濃い圃場が多く見られる。生育は平年より1~2日程度の遅れ。m²葉数は、概ね平年並に確保されているが、やや少ない圃場も散見される。 平坦部「はえぬき」(村山市)の草丈は49.9cm(平年比92%)、葉数は644本/m²(平年比107%)、葉数は10.2枚(平年差-0.1枚)、葉色(SPAD)は42.7(平年差+3.4)。平坦部「つや姫」(村山市)の草丈は51.9cm(平年比97%)、葉数は567本/m²(平年比99%)、葉数は9.7枚(平年差-0.2枚)、葉色(SPAD)は44.1(平年差+4.5)。中山間部「あきたこまち」(尾花沢市)の草丈は57.4cm(平年比103%)、葉数は704本/m²(平年比131%)、葉数は10.2枚(平年差-0.2枚)、葉色(SPAD)は44.3(平年差+1.5)。 (オールやまがた米づくり日本一運動 村山地域本部・村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月11日付)</p> <p>6月30日現在のつや姫調査の生育は、指標に対し、草丈は短い、葉数はやや少、葉色はやや濃い、生育進度は3日程度遅れ、例年よりばらつきが大きい。(村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月6日付)</p> <p>(東南村山) 7月10日現在、草丈は平年よりやや短い、葉数は並~やや少ない、葉色はやや濃い状況。幼穂の生育から出穂期は、平年並に見込まれる。「はえぬき」の草丈は51.9cm(平年比86%)で平年より短く、葉数は591本/m²(平年比90%)で平年より少なく、葉数は10.1枚(平年差-0.4枚)で平年より少なく、葉色(SPAD)は45.4(平年差+0.8)で平年並。「つや姫」の草丈は57.8cm(平年比100%)で平年並、葉数は560本/m²(平年比110%)で平年より多く、葉数は9.8枚(平年差+0.4枚)で平年より少なく、葉色(SPAD)は41.5(平年差-3.5)で平年より濃い。 (オールやまがた米づくり日本一推進運動村山地域本部村山農業技術普及課 7月10日付)</p> <p>7月10日現在、つや姫調査圃7か所の生育は、草丈が平年より短く、葉数が並、葉色はやや濃く推移している。幼穂の生育から、つや姫の出穂期は平年並の8月9日頃と見込まれる。 (山形つや姫ブランド化戦略推進本部村山地域本部 村山農業技術普及課 7月11日付)</p> <p>(鶴岡田川) 7月10日現在、生育はやや遅れており、出穂はいずれの品種も平年より1~2日程度遅くなる予想。葉色は全般に平年より濃い圃場が多い状況。 幼穂による出穂予想(水田農産、藤島での調査結果)は、あきたこまち(中生晩)は7月29日(平年差+1日)、とまんなか(中生早)は7月31日(平年差+2日)、ひとめぼれ(中生晩)は8月4日(平年差+1日)、はえぬき(中生晩)は8月4日(平年差+2日)、つや姫(晩生)は8月12日(平年差+1日)、コシヒカリ(晩生)は8月12日(平年差+2日)の見込み。(庄内総合支庁農業技術普及課 7月11日付)</p> <p>つや姫の7月10日の調査結果は、平年に比べて短草、葉数は並~やや多、葉色濃く、葉数は1~2日程度遅れている。幼穂からみた出穂期予想は、上清水8/12(平年8/10)、押切8/14(平年8/12)と、平年より2日程度遅くなる見込み。 (庄内総合支庁農業技術普及課 7月10日付)</p> <p>水稲直播栽培調査圃場の生育状況(6月20日~30日)は、鉄コトニング直播栽培では、平年に比べ葉数少なく、葉数は10日程度遅れ、葉色は平年並。生育は遅れている。(庄内総合支庁農業技術普及課 7月3日付)</p> <p>(最 上) 7月7日現在、出穂時期は平年より2日程度の遅れと予想。(最上総合支庁農業技術普及課 7月7日付)</p> <p>6月30日現在、生育診断書の調査結果では、全品種で草丈短く、葉数は平年並、葉数は1~3日程度の遅れ、葉色は平年並から濃い状況。現場では、葉数が少ないほ場もあり、葉数は2~5日遅れ、葉色はほ場間の格差が大きい状況。 (最上総合支庁農業技術普及課 6月30日付)</p> <p>(置 賜) はえぬき、つや姫の生育は、「草丈:短く」、「葉数:平年並~やや少なく」、「葉数:平年並」、葉色は「濃い」状況。出穂期は「平年並から2日遅い」予想。 (オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 7月6日付)</p> <p>6月30日現在、つや姫の生育診断書の状況は、指標と比べ、草丈は短いものの、葉数や葉数は指標並みまで回復してきた。葉色はやや濃い状況。圃場間で生育のばらつきが大きく、特に葉数の差が大きくなっている。 (オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 7月6日付)</p> <p>(西 村 山) 6月30日現在、平坦はえぬき作柄診断書の生育状況(寒河江市高麗)は、草丈は42.5cm(平年比91%)、葉数は64本/m²(平年比109%)、葉数は9.3枚(平年差-0.2枚)、葉色(SPAD)は45.0(平年差+3.9)。葉数の進みはほぼ平年並。草丈はやや短い、葉数は圃場間のバラツキが大きい。葉色はやや濃い。出穂期は、ほぼ平年並の予想。(J.Aさがえ西村山 J.Aさがえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 7月4日付)</p> <p>6月30日現在、つや姫の生育は、指標値と比較して、調査圃場の草丈は短く、葉数はやや多く、葉色はやや濃く、葉数は指標値並で経過している。他の圃場でも葉数にばらつきはあるものの、葉数が指標値のため、出穂期は平年並と予想。(J.Aさがえ西村山 J.Aさがえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 7月4日付)</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生量が県下全域で多いと予報。 7月後半(7月18日~19日)に実施した畦畔・農道におけるすくい取り調査(調査地点数:44か所)の結果、発生確認地点率は95.5%(平年:66.8%)と広範囲で発生が確認され、過去10か年で最も高い。 (山形県病害虫防除所 7月20日公表)</p> <p>・南東北で斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付)</p> <p>・7月の病虫害の発生量は、葉いもちは平年並、紋枯病はやや少く、斑点米カメムシ類はやや多く、フタオビコヤガ(イネアムシ)(第2世代)は少なく、コバネイナゴはやや少ないと予報 (山形県病害虫防除所 6月28日公表)</p>
福 島	<p>(生 育) ・7月4日現在の農業総合センターの生育調査では、各調査場所とも草丈が平年より短く、葉数は平年より多くなっている。他の形質では、本部(郡山)の主要葉数は平年より少なく、葉色は平年並から淡く、会津地域研究所(会津坂下)の主要葉数は平年並、葉色は平年より濃く、浜地域研究所(相馬)の主要葉数と葉色は平年並となっている。 ・主穂出葉からみた生育は、本部(郡山)では平年より4~7日遅れている。一方、5月1日移植の天のつぶとひとめぼれは、7月3日に幼穂長1mmの茎が数本確認されており、幼穂形成初期は平年よりやや遅い程度になると予想される。会津地域研究所(会津坂下)と浜地域研究所(相馬)の生育は平年並。 (福島県農林水産部 7月7日付)</p>	<p>・南東北で斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付)</p> <p>・葉いもちの発生量は平年並、斑点米カメムシ類の発生量はやや多いと予報 (福島県病害虫防除所 6月29日公表)</p>
茨 城	<p>(生 育) <水戸市 7月10日現在> ・5月1日移植 幼穂の生育程度から予測される「あきたこまち」の出穂期は平年より2日遅く、「コシヒカリ」の出穂期は1日遅い。平年と比べ、草丈は「あきたこまち」がやや短く、「コシヒカリ」で平年並である。葉数は商品種ともに平年並である。葉色は「あきたこまち」がやや淡く、「コシヒカリ」が濃い。 ・5月10日移植 「コシヒカリ」の幼穂の生育程度から予測される出穂期は平年並である。草丈、葉数ともに平年並である。葉色は濃い。 (茨城県農業総合センター農業研究所 7月13日付)</p> <p><龍ヶ崎市 7月10日現在> ・4月27日移植 「あきたこまち」は、出穂期が7月8日で平年より5日早い。「コシヒカリ」は、7月6日時点で、幼穂長が14.3mmであり、幼穂長から予測される「コシヒカリ」の出穂期は、平年並の7月23日頃である。商品種の生育は、草丈は「あきたこまち」で平年並、「コシヒカリ」でやや長く、葉色は「あきたこまち」でやや淡く、「コシヒカリ」で平年並である。 ・5月8日移植 7月7日時点の幼穂長は、「あきたこまち」で46.3mm、「コシヒカリ」で4.7mmであった。幼穂長から予測される出穂期は、「あきたこまち」で平年より1日遅い7月18日頃、「コシヒカリ」では平年より1日早い7月27日頃である。商品種とも、草丈は平年よりやや長く、葉色は「あきたこまち」でやや淡く、「コシヒカリ」で平年並である。 (茨城県農業総合センター農業研究所 7月19日付)</p>	<p>・北関東で繭葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付)</p> <p>・7月の葉いもち、斑点米カメムシ類の発生量は県下全域で平年並と予報 (茨城県病害虫防除所 6月29日公表)</p> <p>・県西地域、県南の一部地域でイネ繭葉枯病の発生量が多いと予報 (茨城県病害虫防除所 6月12日公表)</p>
栃 木	<p>(生 育) <早稲栽培コシヒカリ(16か所平均)7月6日調査結果> ・草丈は68.8cmで平年並(平年比101%)、葉数は539本/m²でやや多い(平年比103%)。葉色は3.7で0.1濃く、葉齢は11.7でやや多い(平年比+0.3)。幼穂長は0.6cmで、現在幼穂形成期である。生育診断値(葉色×葉数値)は平年比100%であり、おおむね生育診断指標値の適正範囲内にある。 <普通稲栽培(あさひの夢)7月6日調査結果> ・移植時の苗の草丈は16.0cmで平年比112%と長く、葉齢は3.2で平年並、乾物量は2.51g/100本で平年比110%と重い。草丈は33.2cmで平年並、葉数は256本/m²で平年比86%と少ない。葉齢は7.6葉で平年より1.0葉少なく、葉色は4.3で平年より濃い。葉齢から判断すると、生育は平年並である。葉色×葉数値は1.127で平年比75%と小さい。 (栃木県農政経営技術課 7月10日付)</p>	<p>・北関東で繭葉枯病(ヒメトビウンカ)の発生が「多い」と予想 (農林水産省 7月12日付)</p> <p>・6月下旬~7月下旬の繭葉枯病の発生量はやや多いと予報 (栃木県農業環境指導センター 6月16日公表)</p>

埼玉	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
<p>埼玉</p> <p>＜センター内生育相 7月5日現在＞</p> <p>・早期栽培（5月2日播種「コシヒカリ」は、好天により播種順調な生育である。莖数は、高温により平年を上回って推移し過繁茂が懸念されたが、中干し良好に実施できたため、普通発育の発生が抑えられ、移植後60日調査では概ね平年並となっている。草丈は平年並に推移していたが、中干し後、伸長が抑えられ、平年より1割程度短く推移している。幼穂分化も早く、7月1日時点で幼穂長が4～5mm程度（平年値：0.1mm）であり、出穂期は平年（平年値：7月26日）より1週間程度早まると予想される。</p> <p>・早植栽培（5月19日播種 彩のかがやき）は、強風により葉が傷み、初期生育はやや抑制気味であった。莖数は移植後20日調査では平年を大きく上回っていたが、以降、好天により回復し、平年を上回って推移している。草丈は平年より1割程度短く推移している。葉位の進展は速く、移植後40日調査では平年より1枚近く進んでいる。</p> <p>・普通栽培（6月26日播種 キヌヒカリ）は、好天により活着は良好である。</p> <p>＜県内全般 7月5日現在＞</p> <p>・早期栽培では生育は進んでおり、中干しは概ね順調に行われた。幼穂の分化は5～7日程度早まっている。</p> <p>・早植栽培の生育は、コシヒカリや彩のきずななどの中早生品種では数日早まっている。彩のかがやきなどの晩生品種では平年並からやや早まっている。</p> <p>・普通栽培の生育は、活着が良好で初期生育も概ね順調である。</p> <p>（埼玉県農業技術研究センター 7月5日現在）</p>		<p>・7月の病害虫の発生量は、葉いもちはやや少、紋枯病、ヒメトビウカ、繭葉枯病はやや多、ツマグロコバエはやや少、イネツトムシ（第2世代幼虫）（イネモンジセリ）は平年並、セジロウカはやや多、斑点米カメムシは多、イネアオムシ（第3世代幼虫）（フタオコヤカ）は平年並の予報（埼玉県病害虫防除所 6月28日公表）</p> <p>・関東でイネ繭葉枯病（ヒメトビウカ）の発生が「多い」と予想（農林水産省 6月14日付）</p>
<p>千葉</p> <p>（生育）</p> <p>・7月13日現在、7月上旬の高温により生育がさらに進み、4月20日頃に播付した「ふさおとめ」、「ふさかがね」、「コシヒカリ」の出穂期は、平年より3日程度早まっている。また、5月1日頃に播付した「コシヒカリ」は、7月22日頃から出穂期を想定すると予想される。</p> <p>（千葉県農林水産部 7月13日付）</p>		<p>・関東でイネ繭葉枯病（ヒメトビウカ）の発生が「多い」と予想（農林水産省 6月14日付）</p> <p>・向う1か月間の病害虫の発生量は、いもち病（葉いもち）、ばか苗病は平年並、イネドクオウムシは少、ジャンボトニシはやや多、イネクロカメムシは平年並、ヒメトビウカはやや多、セジロウカはやや少の予報（千葉県農林総合研究センター 6月14日公表）</p>
<p>新潟</p> <p>（新 潟）</p> <p>・7月10日現在、出穂期は、コシヒカリ・こしいぶきとも前年より5日程度（平年より2日程度）遅れる見込み。コシヒカリ・こしいぶきとも、県平均では指標値に比べ草丈は「並」、莖数は「多い」、葉数の進みは「並」、葉色は「濃い」状況。こしいぶきの出穂期は平年より1日遅い7月30日と予想される。（新潟県農林水産部 7月11日付）</p> <p>（新 潟）</p> <p>・7月14日現在、幼穂が各地域で見られる。草丈は指標値並だが、2.4cm/日伸長しており、葉色は「濃い」状況。下位節間が長く、倒伏が懸念される。コシヒカリの出穂期、当初予想（8月10日）よりも早まり、8月7日（平年比+1）の見込み。（新潟県農業普及指導センター 7月14日付）</p> <p>7月10日調査の結果、コシヒカリは指標値に比べて、草丈はやや短、莖数は並、葉数の進みはやや遅、葉色は濃い。前回調査（6/29）から草丈が約2.1cm/日（平年1.4cm/日）の速度で急伸長した。コシヒカリ（調査地点9）の草丈は61cm（指標比91%）、莖数は455本/m²（指標比99%）、葉数は10.9葉（指標差-0.5葉）、葉色（SPAD値）は37.9（指標差+2.2）。こしいぶき（調査地点2）の草丈は58cm（指標比93%）、莖数は570本/m²（指標比119%）、葉数は11.5葉（指標差-0.2葉）、葉色（SPAD値）は38.9（指標差+1.9）。新之助（調査地点3）の草丈は51cm（指標比98%）、莖数は541本/m²（指標比93%）、葉数は11.1葉（指標差+0.1葉）、葉色（SPAD値）は36.8（指標差+0.8）。出穂期は、こしいぶきは平年より3日遅い7月30日、コシヒカリは平年より4日遅い8月10日の見込み。新之助は前年より5日遅い8月16日の見込み。（新潟県農業普及指導センター 7月10日付）</p> <p>（岩 船）</p> <p>7月13日現在、コシヒカリの生育は、指標値と比較して、草丈は並、莖数は並、葉数は並～やや遅、葉色はやや濃い。草丈は急伸長、葉色は濃い状態が続いている。コシヒカリ（調査場所6ヶ所の平均）の生育状況は、草丈は65cm（指標比98%）、莖数は433本/m²（指標比98%）、葉数は10.8葉（指標差-0.4葉）、葉色（SPAD値）は39.0（指標差+4.5）。（村上農業普及指導センター 7月13日現在）</p> <p>7月10日現在、指標値と比較して、草丈は並、莖数は並～やや少、葉数は並～やや遅、葉色はやや濃い。コシヒカリの生育は、中山間地域でやや遅れているもの、平坦部では、ほぼ平年並の生育進度に近づきつつある。コシヒカリの生育高分け期は、7月5日～7月10日頃であり、莖数は平坦部では指標値に比べ並、中山間地域ではやや少となっている。早生品種の幼穂形成期は、平年比3日程度遅くなっているが、こしいぶきは幼穂形成期に達している場所が多く見られる。コシヒカリ（調査場所6ヶ所の平均）の生育状況は、草丈は59cm（指標比97%）、莖数は435本/m²（指標比94%）、葉数は10.5葉（指標差-0.2葉）、葉色（SPAD値）は39.7（指標差+4.3）。（村上農業普及指導センター 7月10日現在）</p> <p>（三 条）</p> <p>コシヒカリの幼穂調査結果（7月13日）は、各地域で幼穂が確認され、出穂期は5月5日頃で8月5日、5月10日頃で8月7日と、ほぼ平年並となる見込み。幼穂の伸長は、丘間開きが大きい、下位節間の伸長もみられ、倒伏の危険性が高まることと予想される。（三条農業普及指導センター 7月13日付）</p> <p>7月10日の調査結果（管内コシヒカリ35か所、こしいぶき6か所平均）は、コシヒカリの草丈は66cm（指標比102%）、莖数は461本/m²（指標比94%）、葉数は10.8葉（指標差+0.3葉）、葉色は38.2（指標差+1.7）。こしいぶきの草丈は58cm（指標比94%）、莖数は477本/m²（指標比93%）、葉数は11.1葉（指標差-0.5葉）、葉色は40.7（指標差+3.7）。コシヒカリは、前回調査から草丈が急伸長し、葉色は依然濃い。こしいぶきは、依然葉色が濃い状況である。（三条農業普及指導センター 7月10日付）</p> <p>（南魚沼）</p> <p>7月10日現在の生育状況（管内調査地点の平均）は、草丈は61cmでやや短く（指標値比94%）、莖数は451本/m²で並（指標比101%）、葉色（SPAD値）は39.7で濃い（指標差+3.7）、莖数は39.7で並（指標差+0.2葉）。コシヒカリの出穂期は平年並の見込み。田植え日が6月15日では出穂期は8月1日、5月15日では8月2日、5月20日では8月8日、5月25日では8月12日、5月30日では8月15日と予想。（南魚沼地域振興農林振興部普及課 7月12日付）</p> <p>（糸魚川）</p> <p>7月10日現在、コシヒカリ（田植え日：5月2～22日）の生育状況は、指標値に比べ草丈は短い。莖数は多い、葉数はやや少、葉色は濃い。前回調査日から草丈が急激に伸長し（10日で平均22cm伸長）、葉色が増加（SPADで平均2.1増加）している。葉色は5月中旬の田植え現場では、特に濃い傾向。幼穂形成期は、成況で7月11日、西川原で7月12日と見込まれ、出穂期は成況では8月2日、西川原では8月3日と見込まれる。現時点の予想では、出穂期は概ね平年並、前年と比べ3日程度遅くなる見込み。（糸魚川地域農林振興部 7月11日付）</p> <p>（巻）</p> <p>7月10日調査の結果、生育の特徴は、指標値に比べ草丈は「やや短い」、莖数は「並」、葉数は「並～やや遅い」、葉色は「薄」。出穂期は早生コシヒカリともに平年並～2日程度遅いと予想される。コシヒカリ（西浦区全体）の草丈は63cm（指標比94%）、莖数は441本/m²（指標比103%）、主幹葉数は10.9葉（指標差-0.2葉）、葉色（SPAD）は38.8（指標差+3.3）。こしいぶき（管内8か所）の草丈は61cm（指標比94%）、莖数は486本/m²（指標比99%）、主幹葉数は11.2葉（指標差-0.3葉）、葉色（SPAD）は40.5（指標差+4.5）。新之助（管内8か所）の草丈は55cm（指標比105%）、莖数は533本/m²（指標比92%）、主幹葉数は11.1葉（指標差-0.4葉）、葉色（SPAD）は37.6（指標差+3.1）。（巻農業普及指導センター 7月10日付）</p> <p>（魚 沼）</p> <p>7月10日のコシヒカリ生育調査結果（14地点平均値）は、草丈60cm（指標値比95%）、莖数471本/m²（指標値比98%）、葉数10.3葉（指標値差-0.3葉）、葉色（SPAD値）39.7（指標値差+5.2）。指標値に比べ、草丈はやや短い、莖数は並、葉数は並、葉色は濃い。出穂予想（作物研究センター、7月4日現在）は、前年より5日遅い見込み。稚苗を5月15日頃に植えた場合の出穂期は8月7日頃と予想。（魚沼農業普及指導センター 7月10日付）</p> <p>（柏 崎）</p> <p>7月10日現在、こしいぶきとコシヒカリともに葉色は濃くなっている。指標値と比較して、草丈は並、莖数はやや多い、葉数は並、葉色は濃い。こしいぶき（3カ所平均）の生育状況は、草丈は58cm（指標比94%）、莖数は498本/m²（指標比111%）、葉数は11.2枚（指標差+0.2枚）、葉色（SPAD）は42.5（指標差+5.5）。コシヒカリ（6カ所平均）の生育状況は、草丈は66cm（指標比101%）、莖数は545本/m²（指標比121%）、葉数は10.8枚（指標差+0.1枚）、葉色（SPAD）は39.3（指標差+4.3）。（柏崎農業普及指導センター 7月11日付）</p> <p>7月10日現在、新之助の生育は、草丈はやや長く、莖数は多い。葉色、葉色のほ場差が大きくなっている。生育状況（3カ所平均）は、草丈は58cm、莖数は611本/m²、葉数は11.0枚、葉色（SPAD）は37.1。（柏崎農業普及指導センター 7月10日付）</p> <p>（新発田）</p> <p>コシヒカリの生育概況（7月10日調査）は、草丈は63cmで指標比99%（並）、莖数は508本/m²で指標比118%（多）、葉数は10.8葉で指標差+0.1葉（並）、葉色は葉緑素計39.3で指標差+2.8（濃）。葉数の進みは平年並となっているが、出穂は平年と比べ3日程度遅い（5/10移植コシヒカリ→6/11出穂）と予想される。草丈は前回調査から急伸しており、葉色も濃く推移していることから倒伏が懸念される。早生品種の出穂期は、平年比4日程度遅れる見込み。（新発田農業普及指導センター 7月10日付）</p> <p>（長 岡）</p> <p>7月10日現在、コシヒカリの生育は、指標値に比べ草丈は並、莖数は並、葉数は並、葉色はやや濃い～濃い状況となっている。田植え日より生育の進みに差があり、幼穂形成期は指標値とほぼほぼつき見込みである。一部に葉色の濃い場所も見られる。葉数は指標値並で、5月10日植えのコシヒカリでは出穂期は平年より2日程度遅い8月7日と予想される。こしいぶき定点調査ほ（長岡市乙吉町、5月7日植え）の幼穂形成期は7月7日であり、出穂期は7月31日（前年より6日遅い）と予想される。（長岡農業普及指導センター 7月10日付）</p> <p>（十日町）</p> <p>7月10日現在の生育状況は、葉色は「濃く」推移し、草丈は急激に伸長し指標値「並」で、莖数が「多」で分けつ淘汰は緩慢。早生品種の幼穂の確認状況から、出穂予想は平年より2日遅い見込み。管理対策推進員ほ場含む29ほ場の調査結果は、平坦地の草丈は並～やや短く、葉色はやや濃い。高標高地の草丈は並で、一部ほ場で長く、葉色はやや濃い。台地の草丈は並～短く、葉色は濃い。出穂期は全品種ともに平年と比較し、平坦地・高標高地ともに2日遅い見込み（十日町地域農林振興協議会・魚沼米振興部会 7月10日公表）</p> <p>（佐 渡）</p> <p>7月10日現在、莖数が多く葉色が濃い状態が続いている。草丈もここ数日で急伸しており、倒伏の懸念が出てきた。コシヒカリ（拠点ほ場8か所の平均）の生育状況は、草丈は59cm（指標値比98%）、莖数は542本/m²（指標値比123%）、葉数は10.8葉（指標値差-0.4葉）、葉色（SPAD値）は38.3（指標値差+1.3）。（佐渡農業普及指導センター 7月10日付）</p> <p>（津南町）</p> <p>6月30日現在の生育状況は、草丈は「短い」、莖数は「平年並」、葉数は「平年並」、葉色は「平年並」の状況。出穂期は、平坦地、台地ともに平年より2日遅い見込み。（十日町地域農林振興協議会 7月6日公表）</p> <p>（上 越）</p> <p>6月29日現在、コシヒカリの生育は、草丈短く、莖数は多く、葉色は濃く、生育過剰傾向。コシヒカリの出穂期は、平年並の8月6日の見込み（前年と比べ4日程度遅い）。こしいぶきは7月31日頃、新之助は8月11日、みずほの跡きは8月14日頃の見込み。（上越農業普及指導センター 7月6日付）</p> <p>6月29日現在、「コシヒカリ」の生育は、草丈は短い（指標値比88%）、莖数は多い（指標値比145%）、葉数は並（指標値差-0.1葉）、葉色は濃い（SPAD値+3.3）。低温が続いているため、草丈は短くなっているが、葉色は濃く、莖数は急増し、過剰となっている。「こしいぶき」の生育も、草丈は短く、莖数は多く、葉色は濃く、葉色は濃くなっている。（上越農業普及指導センター 6月29日付）</p>		

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
富山	<p>＜生育観測ほデータ（7月18日現在）＞</p> <p>（コンヒカリ）葉齢は平年並となっており、草丈、葉色は平年並、莖数は多く推移している。幼穂形成期は、平年並の7月12日となった。出穂期は、平年並の8月3日頃と見込まれる。 草丈は80.7cm（平年比100%）、莖数は506本/m²（平年比112%）、葉齢は13.1（平年差+0.1）、葉色（SPAD値）は33.5（平年差+0.7）</p> <p>（てんこもり）葉齢は平年よりやや進んでおり、草丈、葉色は平年並、莖数はやや多く推移している。幼穂形成期は、平年より2日早い7月13日となった。出穂期は、平年より2日早い8月5日頃と見込まれる。 草丈は71.8cm（平年比98%）、莖数は584本/m²（平年比105%）、葉齢は14.2（平年差+0.2）、葉色（SPAD値）は36.0（平年差+1.0）</p> <p>（てんたかく）5月5日移植の「てんたかく」の出穂期は、平年より1日遅い7月23日頃と見込まれる。成熟期は、平年より1日程度遅い、8月28日頃と見込まれる。 （富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日付）</p> <p>＜直播栽培の生育状況（7月18日現在）＞</p> <p>・湛水直中直播栽培（カルバー）は、葉齢は平年並となっており、草丈、莖数、葉色とも平年並に推移している。幼穂形成期は、平年より1日早い7月16日であった。出穂期は、平年より1日早い8月7日頃と見込まれる。</p> <p>・湛水表面直播栽培（鉄）は、近年に比べ葉齢はやや進んでおり、草丈、葉色は並、莖数はやや多くなっている。幼穂形成期は、近年より1日早い7月17日頃と見込まれる。出穂期は、近年より1日早い8月7日頃と見込まれる。</p> <p>・乾田/湛水直播栽培は、平年に比べて葉齢がやや進んでおり、草丈、葉色は並、莖数は多くなっている。幼穂形成期は、平年より2日早い7月19日頃と見込まれる。出穂期は、平年より2日早い8月10日頃と見込まれる。 （富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日付）</p>	<p>・北陸で紋枯病と斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月12日付）</p> <p>・7月の病害虫の発生量は、葉いもち、穂いもち、紋枯病、福こうじ病はやや多いと予想。斑点米カメムシ類のアカヒケホリミドリカスミカメはやや多い、アカシカスミカメ、トゲシホシカメムシは多いと予想。ニカメイガ（第2世代）は発生時期が早く発生量は平年並、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウンカは平年並、セジロウンカ、イネアオムシ、イナゴ類は少ないと予想 （富山県農林水産総合技術センター 6月30日公表）</p>
石川	<p>・出穂期予想は、7月に入り気温が高く推移したことから、前回調査時に比べ予想出穂期はやや早まっている。ゆめみづほは、加賀地域では既に出穂期を迎えているほ場もあるものの、近年並～2日程度遅く（7月17日～22日）、能登地域では近年並（7月22日頃）と見込まれる。能登ひかりは近年に比べ1日程度遅くなる（7月26日頃）と見込まれる。コシヒカリは、加賀地域は平年並～2日程度早く（7月26日～31日）、能登地域は平年並（7月30日～8月4日）と見込まれる。</p> <p>・草丈は、コシヒカリで平年比102%（加賀地域101%、能登地域104%）と並。ゆめみづほは、近年比100%（加賀地域100%、能登地域101%）と並。</p> <p>・m²あたりの莖数は、コシヒカリは平年比106%（加賀地域106%、能登地域106%）と並、ゆめみづほは近年比108%（加賀地域108%、能登地域108%）と並となっている。</p> <p>・コシヒカリの葉色は前回調査時から低下し、4.0（葉色板値）と平年及び前年並となっている。 （農林総合研究センター 7月18日調査）</p>	<p>・7月中旬～8月上旬の病害虫の発生量は、穂いもち、紋枯病はやや多、斑点米カメムシ類は多、セジロウンカは平年並、コブメイガはやや多、ツマグロヨコバイは多、フタオビコバヤはやや少と予想 （石川県農林総合技術センター 7月13日公表）</p> <p>・北陸で紋枯病と斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月12日付）</p>
福井	<p>・7月13日現在、移植のコシヒカリは草丈がやや短く、莖数はやや多い。7月10日前後に幼穂形成期を迎えている。移植のハナエテゼンは出穂期を迎えようとしている。 （水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月14日付）</p>	<p>・北陸で紋枯病と斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月12日付）</p> <p>・7月の病害虫の発生量は、葉いもち、早・中生穂いもち、平年並、白葉枯病は平年よりやや多く、紋枯病は平年より多く、ニカメイガは平年よりやや少なく、ツマグロヨコバイは平年より多く、セジロウンカ、イネアオムシ、イネアオムシは平年並と予想 （福井県農業試験場病害虫防除室 6月29日公表）</p>
長野	<p>・7月9日～19日の調査の結果、農業試験場水稲試験圃（須坂市八重森（標高348m））の幼穂形成期は、平年に比較して「あきたこまち」で2日遅く、「コシヒカリ」で3日早い。 （長野県農業試験場 7月19日）</p> <p>・7月18日の調査の結果、農業試験場原村試験圃（標高1,017m）の移植後50日調査では、「ゆめしなの」が平年並、「あきたこまち」が平年より1日早い幼穂形成期となった。全品種草丈は平年並に近づき、莖数はかなり回復したが、平年までは戻っていない。 「ゆめしなの」の主穂莖数は10.6本（平年差+0.5本）、草丈は69cm（平年比99%）、莖数は471本/m²（平年比81%）。 「あきたこまち」の主穂莖数は11.5本（平年差+1.2本）、草丈は56cm（平年比93%）、莖数は519本/m²（平年比85%）。 （長野県農業試験場 7月18日調査）</p> <p>・6月30日現在、安曇野市豊科水稲奨励ほ（5月16日田植）での生育状況は、コシヒカリの草丈は46cm（平年比94%）、莖数は694本/m²（平年比108%）。あきたこまちは草丈は43cm（平年比86%）、莖数は623本/m²（平年比115%）。 6月29日現在、D・V・Iによる生育進度では「平年より2～3日遅い」と推定している。 （松本農業改良普及センター）</p>	<p>・6月15日からの向こう1か月間、葉いもち、縞葉枯病・黒条萎縮病、ツマグロヨコバイ第1回成虫（黄萎病）の発生量は平年並、ニカメイチュウ 第1世代幼虫の発生量はやや少、イナゴ、イネトドロオシムシ、イネミスゾウムシの発生量は平年並の予想 （長野県病害虫防除所 6月15日公表）</p>
滋賀	<p>＜農業技術振興センター 水稲作況調査（6月30日時点）＞</p> <p>・草丈は、「コシヒカリ」で58.9cm（平年比90%）、「秋の詩」で48.7cm（平年比85%）と、両品種ともに平年より短かった。</p> <p>・莖数は、両品種ともに平年より多く、「コシヒカリ」は871本/m²で平年より約30%、「秋の詩」は836本/m²で平年より約20%多かった。</p> <p>・葉数は、両品種ともに平年並であった。</p> <p>・採取調査によると、m²あたり乾物量は、両品種とも平年並から小さく、一葉あたり乾物量は、両品種とも平年より小さかった。</p> <p>・「コシヒカリ」の幼穂形成期は7月2日で、平年より3日早かった。</p> <p>・「みずがみ」の出穂期予想は、5月7日移植では7月19日前後、5月17日移植では7月25日前後の早込み。 （滋賀県農業技術振興センター 7月7日付）</p>	<p>・病害虫の発生量は、葉いもち、穂いもち、紋枯病、白葉枯病、ニカメイガ（Ⅱ）、セジロウンカは平年並と予想。ヒメトビウンカと斑点米カメムシ類は発生時期が早く発生量はやや多い、ツマグロヨコバイは平年並、イネアオムシ、イネアオムシは平年並と予想 （滋賀県病害虫防除所 7月4日公表）</p>
兵庫	<p>・6月30日現在、県北は葉齢の進展は平年よりやや遅く、草丈は短く、莖数は平年より多い。全県では、葉齢の進展は平年並、草丈は平年より長い。莖数は平年並である。</p> <p>・コシヒカリの予想出穂期（6月26日現在）は、北但平坦部（豊岡市八社宮、移植日5月15日）では8月3日、県北山間部（新温泉町丹土、移植日5月10日）では8月8日、南但平坦部（朝来市和田山町牧田、移植日5月20日）では8月5日の見込み。 キヌヒカリの予想出穂期（6月26日現在）は、県南平坦部（加西市別府町、移植日6月1日）では8月12日、淡路平坦部（南あわじ市種別、移植日6月20日）では8月20日の見込み。 （兵庫県環境部 6月30日付）</p>	<p>・6月の葉いもち、ばか苗病の発生量は平年並、ヒメトビウンカ（縞葉枯病）の発生量はやや多、セジロウンカ、トビイロウンカの発生量は平年並の予想 （兵庫県病害虫防除所 5月30日公表）</p>
岡山		<p>・7月の病害虫の発生量は、葉いもち、穂いもち、紋枯病はやや多、ヒメトビウンカ、縞葉枯病は平年並、ツマグロヨコバイ、セジロウンカはやや少、ニカメイガ、トビイロウンカ、斑点米カメムシ類は平年並と予想 （岡山県病害虫防除所 7月3日公表）</p>
広島		
山口	<p>・7月3日定点調査結果による生育状況は、各品種とも、おおむね過去の平均と同程度の生育状況となっている。5月中旬までに移植したコシヒカリ等は、概ね最高分け期となった。好天により莖数はやや多くなっている。深水等が続くほ場では、葉が長く草丈が乱れ、莖数がやや少なくなっている。</p> <p>・コシヒカリ（6月13日移植）の草丈は55.6cm、莖数は361本/株、葉齢の進み具合は9.2葉。ひとめぼれ（5月21日移植）の草丈は49.1cm、莖数は17.5本/株、葉齢の進み具合は8.6葉。きぬむすめ（6月3日移植）の草丈は46.3cm、莖数は18.9本/株、葉齢の進み具合は8.1葉。 （JA長門大津、長門農林事務所農業部 7月5日付）</p>	<p>・7月の病害虫の発生量は、葉いもち、紋枯病は平年並、ヒメトビウンカ、セジロウンカはやや多、トビイロウンカ、コブメイガは平年並、斑点米カメムシ類はやや多の予想 （山口県病害虫防除所 7月5日公表）</p>
愛媛	<p>・7月は早期栽培のコシヒカリ、あきたこまちは穂肥の施用時期にあたる。早期栽培は、幼穂形成から出穂・開花期を迎える。 （愛媛県農林水産研究所 7月6日）</p>	<p>・四国で縞葉枯病（ヒメトビウンカ）の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月12日付）</p> <p>・7月の病害虫の発生量は、普通期栽培の葉いもち、早期栽培の葉いもち、穂いもち、穂いもち、紋枯病は平年並、セジロウンカ、コブメイガ、イネアオムシ（イネアオムシ、第2世代）、斑点米カメムシ類はやや少と予想 （愛媛県 6月30日公表）</p>
高知	<p>＜早期水稲の生育状況（6月30日時点）＞</p> <p>・平年より早く最高分け期を迎えた。出穂期は、4月5日補え「南国そだち」は6月19日であった。また、「コシヒカリ」の出穂期は、4月5日補えが6月30日と平年より2日早かった。4月14日補えは平年並と予測。</p> <p>＜普通期栽培の生育状況（6月30日時点）＞</p> <p>・普通期栽培では、例年どおり6月3日に「ヒノヒカリ」を移植した。草丈が平年より低く、莖数が平年よりも多くなっている。葉齢でみた生育進度は平年より早くっており、順調に生育している。 草丈は40.8cm（平年値41.1cm）、莖数は391本/m²（平年値361本）、葉齢は8.6（平年値8.3） （高知県農業技術センター）</p>	<p>・四国で縞葉枯病（ヒメトビウンカ）の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月12日付）</p> <p>・7月の病害虫の発生量は、穂いもち、穂いもち、少、ツマグロヨコバイは県中央部と県西部で多、県中西部でやや少、県東部で少と予想。ヒメトビウンカは、県中央部、県中西部、県西部で多、県東部で少の予想。セジロウンカは、県中央部、県西部で多、県中央部で平年並、県東部、県西部で少と予想 （高知県病害虫防除所 7月5日公表）</p>

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・早期水稻の生育は順調で有効差は確保され、中干し時期となっている。出穂期は平年比3～4日早い7月中旬の見込み。 ・普通期水稻は、5月中旬～6月上旬植えは、田植え後高温で経過したため活着がよく、生育は順調。平坦地の「夢つくし」は6月上中旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が田植えの最盛期となる見込み。（福岡県農林業総合試験場 平成29年6月15日現在（専任情報より抜粋）） 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月のセジロウカ、トビロウカの発生量は平年並と予報（福岡県病害虫防除所 6月30日公表）
熊本		<ul style="list-style-type: none"> ・南九州で斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月12日付） ・7月の病害虫の発生量は、早期水稻の穂いもちはやや少、早植え水稻の葉いもちはやや少、普通期水稻の葉いもちはやや多と予報。早植え・普通期水稻のツマグロヨコバイ、ヒメトビウカ、トビロウカは平年並、セジロウカはやや少と予報。早期・早植え水稻の紋枯病は平年並、普通期のコブノメイガは平年並と予報。水稲全般の縞葉枯病は少ないと予報。（熊本県病害虫防除所 6月30日公表）
宮崎		<ul style="list-style-type: none"> ・南九州で斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月12日付） ・向こう1か月間の病害虫の発生量は、早期水稻の葉いもちはやや少、紋枯病、ツマグロヨコバイは平年並、セジロウカはやや少、ヒメトビウカは平年並、斑点米カメムシ類はやや多と予報。普通期水稻の葉いもち、ツマグロヨコバイ、セジロウカ、ヒメトビウカは平年並、スクミリンゴガイはやや少と予報。（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月27日公表）
鹿児島		<ul style="list-style-type: none"> ・南九州で斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月12日付） ・7月の病害虫の発生量は、早期水稻の穂いもち、紋枯病は平年並、斑点米カメムシ類はやや多と予報。普通期水稻の葉いもちはやや多と予報。（鹿児島県病害虫防除所 7月3日公表）

注1：地方自治体及び出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	生産数量目標					取引量（主食用） 28年度	作況指数 28年度
		生産数量目標			参考			
		平成29年度	前年度との比較	増減率	自主的取組参考値（深堀）			
	t	t	%	t	t			
全 国	<ul style="list-style-type: none"> 7月22日～8月21日の1か月間は、気温は高い見込み。特に西日本と沖縄・奄美では、期間の前半は気温がかなり高い所がある見込み。降水量は、東日本日本海側では多く、東日本太平洋側と北・西日本では平年並が多い見込み。日照時間は、北・東・西日本では平年並が少ない見込み。沖縄・奄美では、降水量、日照時間ともにほぼ平年並の見込み。（気象庁 7月20日発表） (7～9月の3か月間の見通し) 7月～9月の向こう3か月の気温は全国的に高い見込み。 降水量は、北日本はほぼ平年並、東・西日本は平年並が多い見込み。（気象庁 6月23日発表） 	7,350,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,330,000	7,496,000	103	
北 海 道	<ul style="list-style-type: none"> 北海道地方の7月22日～8月21日の1か月間は、気温は、日本海側とオホーツク海側で平年並か高く、太平洋側で高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。（札幌管区気象台 7月20日発表） 	535,669	▲ 5,831	▲ 1.1	534,212	545,500	102	
青 森	<ul style="list-style-type: none"> 東北地方の7月22日～8月21日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は多く、日照時間は平年並が少ない見込み。（仙台管区気象台 7月20日発表） 	237,294	▲ 2,583	▲ 1.1	236,649	222,300	104	
岩 手	同上（仙台管区気象台 7月20日発表）	265,432	▲ 2,889	▲ 1.1	264,710	254,300	102	
宮 城	同上（仙台管区気象台 7月20日発表）	341,193	▲ 3,713	▲ 1.1	340,264	352,300	105	
秋 田	同上（仙台管区気象台 7月20日発表）	408,644	▲ 4,448	▲ 1.1	407,532	409,600	104	
山 形	同上（仙台管区気象台 7月20日発表）	337,160	▲ 3,670	▲ 1.1	336,243	345,300	103	
福 島	同上（仙台管区気象台 7月20日発表）	332,316	▲ 3,617	▲ 1.1	331,412	333,600	102	
茨 城	<ul style="list-style-type: none"> 関東甲信地方の7月22日～8月21日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。なお、期間のはじめは、少雨の状況が続く見込み。（気象庁 7月20日発表） 関東甲信地方は、7月19日ごろに梅雨明けしたと見られる。（気象庁 7月19日発表） 鬼怒川では、7月6日から10%の取水制限（農業用水）が実施されている。（国土交通省 7月10日現在） 	330,182	▲ 3,594	▲ 1.1	329,284	350,100	99	
栃 木	<ul style="list-style-type: none"> 同上（気象庁 7月20日発表、7月19日発表、7月3日発表） 鬼怒川では、7月6日から10%の取水制限（農業用水）が実施されている。（国土交通省 7月10日現在） 渡良瀬川では、6月23日から10%の取水制限（農業用水）が実施されている。（国土交通省 6月22日） 	292,326	▲ 3,182	▲ 1.1	291,531	295,300	102	
埼 玉	<ul style="list-style-type: none"> 同上（気象庁 7月20日発表、7月19日発表、7月3日発表） 荒川では、7月21日から20%の取水制限を実施予定。（埼玉県 7月20日） 	148,047	▲ 1,612	▲ 1.1	147,644	154,100	101	
千 葉	同上（気象庁 7月20日発表、7月19日発表、7月3日発表）	241,239	▲ 2,625	▲ 1.1	240,582	295,900	102	
新 潟	<ul style="list-style-type: none"> 北陸地方の7月22日～8月21日の1か月間は、気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。（新潟地方気象台 7月22日発表） 	510,184	▲ 5,553	▲ 1.1	508,796	589,700	108	
富 山	同上（新潟地方気象台 7月20日発表）	181,695	▲ 1,977	▲ 1.1	181,200	191,300	106	
石 川	同上（新潟地方気象台 7月20日発表）	120,996	▲ 1,317	▲ 1.1	120,667	123,900	104	
福 井	同上（新潟地方気象台 7月20日発表）	122,787	▲ 1,337	▲ 1.1	122,453	126,300	104	
長 野	<ul style="list-style-type: none"> 関東甲信地方の7月22日～8月21日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。なお、期間のはじめは、少雨の状況が続く見込み。（気象庁 7月20日発表） 関東甲信地方は、7月19日ごろに梅雨明けしたと見られる。（気象庁 7月19日発表） 木曾川では、6月30日から22.2%の取水制限（農業用水）が実施されている。（国土交通省 7月3日） 	189,867	▲ 2,066	▲ 1.1	189,350	197,800	101	

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	t	%	t	t	t
滋 賀	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿地方の7月22日～8月21日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （大阪管区気象台 7月20日発表） ・近畿地方は、7月19日ごろに梅雨明けしたと見られる。（大阪管区気象台 7月19日発表） 	157,032	▲ 1,709	▲ 1.1	156,604	161,300	104
兵 庫	同上（大阪管区気象台 7月20日発表、7月19日発表）	176,596	▲ 1,922	▲ 1.1	176,115	177,400	100
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> ・中国地方の7月22日～8月21日の1か月間は、1週目の気温は高く、3～4週目は平年並か高いため、向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （広島地方気象台 7月20日発表） ・中国地方は、7月19日ごろに梅雨明けしたと見られる。（広島地方気象台 7月19日発表） 	155,172	▲ 1,689	▲ 1.1	154,750	155,600	101
広 島	同上（広島地方気象台 7月20日発表、7月19日発表）	127,201	▲ 1,384	▲ 1.1	126,855	124,300	102
山 口	<ul style="list-style-type: none"> ・九州北部地方（山口県含む）の7月22日～8月21日の1か月間は、期間の前半は気温がかなり高い所があり、向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （福岡管区気象台 7月20日発表） ・「高温に関する異常天候早期警戒情報」 九州北部地方では、7月25日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+1.6℃以上） （福岡管区気象台 7月20日発表） ・九州北部地方（山口県含む）は、7月20日ごろに梅雨明けしたと見られる。 （福岡管区気象台 7月20日発表） 	106,443	▲ 1,158	▲ 1.1	106,153	101,400	102
愛 媛	<ul style="list-style-type: none"> ・四国地方の7月22日～8月21日の1か月間は、期間のはじめは、気温の高い状態が続く可能性があり、向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い、日照時間は平年並か少ない見込み。 （高松地方気象台 7月20日発表） ・四国地方は、7月19日ごろに梅雨明けしたと見られる。（高松地方気象台 7月19日発表） ・石手川では、7月1日から22.2%の取水制限（農業用水）が実施されている。 吉野川では20%の取水制限（農業用水）が継続中。 （国土交通省 7月3日） 	72,345	▲ 788	▲ 1.1	72,148	72,100	102
高 知	同上（高松地方気象台 7月20日発表、7月19日発表）	49,003	▲ 534	▲ 1.1	48,870	53,100	100
福 岡	<ul style="list-style-type: none"> ・九州北部地方（山口県含む）の7月22日～8月21日の1か月間は、期間の前半は気温がかなり高い所があり、向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （福岡管区気象台 7月20日発表） ・「高温に関する異常天候早期警戒情報」 九州北部地方では、7月25日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+1.6℃以上） （福岡管区気象台 7月20日発表） ・九州北部地方（山口県含む）は、7月20日ごろに梅雨明けしたと見られる。 （福岡管区気象台 7月20日発表） 	178,582	▲ 1,944	▲ 1.1	178,097	177,400	100
熊 本	同上（福岡管区気象台 7月20日発表）	185,277	▲ 2,016	▲ 1.1	184,773	171,300	102
宮 崎	<ul style="list-style-type: none"> ・九州南部・奄美地方の7月22日～8月21日の1か月間は、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があり、向こう1か月の平均気温は高くなる見込み。九州南部の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （鹿児島地方気象台 7月20日発表） ・「高温に関する異常天候早期警戒情報」 九州南部・奄美地方では、7月25日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+1.2℃以上） （鹿児島地方気象台 7月20日発表） ・九州南部は、7月13日ごろに梅雨明けしたと見られる。（鹿児島地方気象台 7月13日発表） 	91,606	▲ 997	▲ 1.1	91,357	77,200	100
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 7月20日発表、7月13日発表）	108,704	▲ 1,183	▲ 1.1	108,408	97,600	100

出所(原資料)：

平成29年度産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成28年度産水陸稲の収穫量(農林水産省)
平成29年度病害虫発生予報第4号(農林水産省 7月12日)

農作物の生育状況 7月15日現在(北海道 7月20日)、農作物生育状況 7月15日現在(北海道空知総合振興局 7月20日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道石狩振興局 7月20日)、農作物の生育状況 7月15日現在(北海道後志総合振興局 7月20日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道胆振総合振興局 7月20日)、農作物の生育状況 7月15日現在(北海道日高振興局 7月20日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道渡島総合振興局 7月20日)、農作物の生育状況 7月15日現在(北海道檜山振興局 7月20日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道上川総合振興局 7月20日)、農作物生育状況調査の概要 7月15日現在(北海道留萌振興局 7月20日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 7月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 7月20日)、

平成29年度病害虫発生予報第7号7月予報(北海道病害虫防除所 6月29日)、
H29水稲作況(7月10日現在)作況調査報告(青森県産業技術センター農林総合研究所 7月11日)、
稲作生産情報第5号(青森県 7月5日)、平成29年度病害虫発生予報第4号(7月予報)(青森県病害虫防除所 6月28日)、
平成29年度水稲生育定期調査結果No.5(7月14日現在)(岩手県農業研究センター 7月18日)、
平成29年度水稲の生育状況(7月10日調査速報)(中央農業改良普及センター県域普及グループ 7月11日)、
農作物技術情報第4号水稲(岩手県 6月29日)、
平成29年度農作物病害虫発生予報第4号(7月予報)(岩手県病害虫防除所 6月28日)、
平成29年度水稲の生育状況について(7月10日現在)(宮城県農林水産部 7月11日)、
仙台稲作情報第5号(宮城県仙台農業改良普及センター 7月14日)、
平成29年度産 美里地区の稲作情報第5号(宮城県美里農業改良普及センター 7月12日)、
登米地域の稲作通信第6号(宮城県米づくり推進登米地方本部登米農業改良普及センター 7月12日)、
栗原の稲作通信平成29年第5号(栗原農業改良普及センター 7月11日)、
平成29年度大崎稲作情報第4号(宮城県大崎農業改良普及センター 7月11日)、
平成29年度産気仙沼・南三陸稲作情報第6号(宮城県古本農業改良普及センター 7月11日)、
稲作情報(Vol.4)(石巻農業改良普及センター石巻地方米づくり推進本部 7月4日)、
平成29年度発生予報情報注意報第2号(宮城県病害虫防除所 7月5日)、
平成29年度発生予報情報発生予報第5号-水稲-(宮城県病害虫防除所 6月23日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」http://www.e-komachi.jp/ 7月14日)、
平成29年度農作物病害虫発生予報第3号(7月予報)(秋田県病害虫防除所 6月30日)、
米づくり技術情報No.6(オールやまがた米づくり日本一運動本部 7月10日)、
稲作だより～第7号～(オールやまがた米づくり日本一運動村山地域実践本部(北村山農業技術普及課 7月11日)、
つや姫だより第3号(村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月6日)、
おいしい米づくり情報第8号(オールやまがた米づくり日本一推進運動村山地域本部村山農業技術普及課 7月10日)、
つや姫通信第5号(村山総合支庁農業技術普及課 7月11日)、
おいしい米づくり情報第10号(庄内総合支庁農業技術普及課 7月11日)、
つや姫だより第5号(庄内総合支庁農業技術普及課 7月10日)、
水稲直播情報第3号(庄内総合支庁農業技術普及課 7月3日)、
稲作だより第8号(最上総合支庁農業技術普及課 7月7日)、稲作だより第7号(最上総合支庁農業技術普及課 6月30日)、
おきたま米づくり情報No.6(オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 7月6日)、
平成29年第1号おきたまつや姫だより(オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部 7月6日)、
稲作だより第6号(Aさかえ西村山JAさかえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 7月4日)、
つや姫情報報徳特集号(Aさかえ西村山JAさかえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 7月4日)、
酒田・飽海日本一米づくり情報第8号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月13日)、
酒田飽海つや姫情報第5号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月3日)、
平成29年度農作物有害動物発生予報情報注意報第1号(山形県病害虫防除所 7月20日)、
平成29年度農作物有害動物発生予報情報発生予報第4号(7月)(山形県病害虫防除所 6月28日)、
主要な農作物の生育情報平成29年度第4号(福島県農林水産部 7月7日)、
平成29年度病害虫発生予報情報発生予報第3号(6月)(福島県病害虫防除所 6月29日)、
農研速報 水稲の生育状況(7月10日現在、水戸市)(茨城県農業総合センター 7月13日)、
農研速報 水稲の生育状況(7月10日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター 7月19日)、
病害虫発生予報注意報第1号(茨城県病害虫防除所 6月12日)、病害虫発生予報7月号(茨城県病害虫防除所 6月29日)、
平成29年度水稲生育診断予報速報No.4(早植栽培、普通植栽培7月6日調査結果)(栃木県 7月10日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(栃木県農業環境指導センター 6月16日)、
平成29年度水稲の生育概況vol.2(平成29年7月5日現在)(埼玉県農業技術研究センター 7月5日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(7月予報)(埼玉県病害虫防除所 6月28日)、
水稲の生育状況と当面对策第5報(千葉県農林水産部 7月13日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(千葉県農林総合研究センター 6月14日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第5号)(新潟県農林水産部 7月11日)、
稲作技術情報【番外】(新潟農業普及指導センター 7月14日)、稲作速報No.5(新潟農業普及指導センター 7月10日)、
H29岩船米生育速報(7月13日現在)番外(村上農業普及指導センター 7月13日)、H29岩船米生育速報(7月10日現在)(村上農業普及指導センター 7月10日)、
FAX稲作情報番外(三条農業普及指導センター 7月13日)、FAX稲作情報No.8(三条農業普及指導センター 7月10日)、
稲作情報No.7(南魚沼農業普及指導センター 7月12日)、
平成29年度糸魚川おれる米づくりコシヒカリ生育情報No.5(糸魚川地域農林振興部 7月11日)、
水稲生育速報(巻農業普及指導センター 7月10日)、
コシヒカリ生育情報(魚沼農業普及指導センター 7月10日)、
稲作管理情報No.5(柏崎農業普及指導センター 7月11日)、
柏崎地域新之助栽培情報No.5(柏崎農業普及指導センター 7月10日)、
新発田地域水稲生育速報No.5(新発田農業普及指導センター 7月10日)、
水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 7月10日付)、
7/10稲作生育速報(十日町地域)(十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 7月10日)、
平成29年度稲作生育速報No.5(佐渡農業普及指導センター 7月10日)、
稲作情報No.4津南町版(十日町地域農業振興協議会 JA十日町・JA津南町・十日町市・津南町・中魚沼NOSAIセンター・十日町農業普及指導センター 7月6日)、
平成29年度「上越地域米」栽培技術情報No.6(上越農業普及指導センター 7月6日)、
平成29年度上越地域米 コシヒカリ、こしひぶき 生育速報(6月29日)(上越農業普及指導センター 6月29日)、
平成29年度新潟県病害虫発生予報情報・予報第5号(7月後半の発生予想)(新潟県病害虫防除所 7月13日)、
平成29年度新潟県病害虫発生予報情報・予報第4号(7月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 6月29日)、
TACS情報第8号(富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日)、直播情報(第6号)(富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日)、
病害虫発生予報第4号(富山県農林水産総合技術センター 6月30日)、
平成29年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-8号)(石川県農林総合研究センター 7月18日)、
病害虫発生予報第4号(石川県農林総合研究センター 7月13日)、
稲作情報No.11【水田農業レベルアップ委員会技術普及部会(農業試験場、福井米戦略課、組合員トータルサポートセンター、JA経済連、主要農作物振興協会) 7月14日]、
平成29年度農作物病害虫発生予報第5号(福井県農業試験場 6月29日)、
平成29年度作物技術普及情報第10号(松本農業改良普及センター)、
水稲の生育状況(平成29年度)(長野県農業試験場 7月19日)、水稲の生育状況(平成29年度)(長野県農業試験場 7月18日)、
病害虫発生予報第3号(長野県病害虫防除所 6月15日)、
平成29年度水稲生育診断情報No.3(滋賀県農業技術振興センター 7月7日)、
平成29年度病害虫発生予報第6号(滋賀県病害虫防除所 7月4日)、
平成29年度兵庫県農業気象技術情報第3号(7月情報)について(兵庫県農政環境部 6月30日)、平成29年度病害虫発生予報第2号(兵庫県病害虫防除所 5月30日)、
平成29年度病害虫発生予報第4号(岡山県病害虫防除所 7月3日)、
稲作フロンティアドライブ(Nos3)(JA長門大津、長門農林事務所農業部 7月5日)、農作物病害虫発生予報7月(山口県病害虫防除所 7月3日)、
気象情報に基づく技術対策-作物平成29年7月(愛媛県農林水産研究所 7月6日)、病害虫発生予報(7月)(愛媛県 6月30日)、
平成29年度における水稲(早期・普通期)の生育状況(6月30日時点)(高知県農業技術センター 6月30日)、
平成29年度病害虫発生予報第4号(7月)(高知県病害虫防除所 7月5日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(専技術情報)よ技粋(福岡県農林業総合試験場 6月15日)、
平成29年度病害虫発生予報第4号(7月)(福岡県病害虫防除所 6月30日)、
平成29年度病害虫発生予報第4号(7月予報)(熊本県病害虫防除所 6月30日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 6月29日)、
平成29年度病害虫発生予報第4号(鹿児島県病害虫防除所 7月3日)、

北海道地方 とうりか月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方 とうりか月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方 とうりか月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方 とうりか月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方 とうりか月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方 とうりか月の天候の見通し(広島地方気象台)、
四国地方 とうりか月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方 とうりか月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部、奄美地方 とうりか月の天候の見通し(鹿児島地方気象台)、
全国 とうりか月の天候の見通し、全国 とうりか月の天候の見通し(気象庁)、異常天候早期警戒情報(気象庁 7月20日)、
平成29年度農業用水情報(第12報)(栃木県 6月23日)、平成29年度渇水状況について(7月3日現在)(国土交通省)、
平成29年度渇水状況について(7月10日現在)(国土交通省)、九州南部の梅雨明けに関するお知らせ(鹿児島地方気象台 7月13日)、
梅雨の時期に関する関東甲信地方気象情報第2号(気象庁 7月19日)、梅雨の時期に関する近畿地方気象情報第2号(大阪管区気象台 7月19日)、
梅雨の時期に関する中国地方気象情報第2号(広島地方気象台 7月19日)、梅雨の時期に関する四国地方気象情報第2号(高松地方気象台 7月19日)、
梅雨の時期に関する九州北部地方(山口県を含む)気象情報第2号(福岡管区気象台 7月20日)、
荒川水系における取水制限の強化(20%)について(埼玉県 7月20日)、